



特集

新型コロナウイルスの影響

昨年から続く新型コロナウイルス禍。3密回避の感染症対策、外出自粛や休業要請など、二中地区においても日常生活に様々な規制・制約が行われてきました。このような状況の中、教育や公共活動はどのような影響を受け、どんな工夫をしてきたのか。真鍋小学校、土浦第二中学校、二中地区公民館に、児童・生徒への指導、授業実施状況、中止した行事、工夫して開催した行事などを寄稿いただきました。

◆真鍋小学校

今まで当たり前に行われていた学
校行事は、縮小・再編・中止となり
ました。家庭との連携を深める場と
しての授業参観、発表の場となる運
動会、文化の良さを知る機会となる
芸術鑑賞会、様々な体験の場となる
遠足、校外学習、宿泊学習、修学旅
行。感染対策も模索する中で、苦渋
の選択を迫られました。

それでも、講師を引き受けてくだ
さり、疑似体験や知識を与えてくだ
さったこと、ICTを利用して、オ
ンラインで話を聞いたこと、縮小し
てもスポーツフェスティバルを開



シェイクアウト訓練

き、闊達な姿を見ることができた
こと。様々な行事に創意工夫を込
り、真剣に取り組み、関わってい
こうという子どもたちの気持ちに
とても救われました。この前向き
で、積極的な態度が、困難をも乗
り越える未来につながる力となる



お話 レモンの会

ことを確信しています。
入学式
真鍋の桜が風に舞い、新緑の芽吹
きが見える頃、115名の新入生た
ちが、緊張の面持ちで、入場してき
た様子が思い出されます。大きなパ
イプ椅子で、足が床に届かず、少し
揺れる様子がさらにかわいらしさを
表していました。本年度もコロナ感
染防止のため、保護者の参加人数を
制限、手指消毒の徹底、マスクの着
用、在校生の参加自粛、式の縮小化
と様々な制限と感染防止対策をとり
ながらの実施となりました。しかし
ながら、画像での校歌紹介など、新
たな式の持ち方も考案できました。
制限のある中でも、アイデアと創造
で、新たな形が生まれていくのでは
ないかと思えます。

昼休みの時間

昨年から、昼休みを前半を高学年・
後半を低学年に分け、密を避けた外
遊びを展開しています。高学年が遊
んでいる間、低学年は清掃を行って
います。黙働清掃（黙々と清掃）に
取り組み、埃があるところを見つけ
てきれいに拭いています。逆に、低
学年が外遊びの時には、高学年が黙
働清掃です。さすがに高学年ともな



MANABE スポーツフェスティバル 2020

ると、磨きに磨きをかけるような、徹底的な掃除の態勢です。さて、外遊びですが、思い思いに汗をびっしょりとかきながら、運動に励んでいます。校長先生と、大樹の桜の木陰で、お話をしている様子もうかがえます。晴天の日は、子どもたちが生き生きと校庭を駆け回り、話す様子や真摯に清掃に励む様子が見られる時間になっています。熱中症指数も上がってきており、マスク着用の場面にも配慮しながら、手洗い・水分補給を徹底して、安全・安心な時間を確保していきます。

給食の時間

給食の時間も、変化を余儀なくされました。これまでなら、グループで楽しく談話しながら会食できていた給食の時間も、黒板と向き合い、できる限りおしゃべりしないように食べることで、感染防止を図ることになります。この新たな約束事も、子どもたちはしっかりと守ろうと心にとめているようです。これも、ご家庭でもコロナウイルスの脅威について、お話をされているから、心に染みて守っていられているのだと思います。

感染防止のためには、学校だけで

なく、家庭や地域との協力があって、皆で対処していかねばならない課題であると大人が捉える必要があると思います。そして、大人が実践に移すことで、児童たちも守らなければと背中について行ってくれているのだと思います。このほかにも、様々な場面で、ご協力いただくことになるかと思っています。

◆土浦第二中学校

世界規模での緊急事態となつてから1年半以上経過しました。昨年度は全国的な臨時休校から始まりましたが、今年度は、学校での通常の生活や行事等も少しずつ行えるようになってきました。とはいえ、マスク着用や手指の消毒、教職員による施設の消毒などは継続して行っています。夏季は感染症だけでなく熱中症への対策も加わっています。そのように様々な留意点や制約、急な変更の可能性のある中ですが、学校では生徒が生き生きと生活できるように工夫しながら活動を行っています。

これまでは御来賓や保護者の皆様に御来校いただいていた様々な行事も、お控えいただいたり人数制限をお願いしており、心苦しく思ってお

ります。お子様方の学校での姿については、中学生のいる御家庭には各種通信も発行していますが、ホームページなどご覧になり、感想をいただけたら幸いです。



授業の様子（7年生）

総体選手壮行会

総合体育大会（総体）が6月中旬から行われました。9年生にとって中学校生活最後の試合である総体。そこに臨む選手たちに向け、応援団が結成され、6月7日壮行会を行いました。例年は全生徒が一堂に会して実施する壮行会ですが、ソーシャルディスタンスを確保するため、体育館に入る人数を制限した上で開催でした。7年生は、ICTを駆使し、各学級で「現場からの生中継」をスクリーンで見ながら一緒に応援しました。日頃の練習と応援の甲斐もあり、男子バスケットボール部、剣道部（女子団体・男子個人・女子個人）、卓球男子個人ダブ

ルスが市総体で優勝するなどの部もベストを尽くしました。そして、悔し涙も子どもたちの心を大きく成長させてくれることと思います。文武両道！



応援団の勇姿

仙台フィルハーモニー鑑賞

文化庁が主催する「文化芸術による子供育成総合事業」に本校が2年連続で選ばれました。昨年度は、東京交響楽団を本校体育館に迎えて行ったため、9年生のみの鑑賞でした。今年度は、クラフトシビックホール土浦（市民会館）大ホールに間隔を空けて座り、全学年生徒が仙台フィルハーモニー管弦楽団の生の音を聴きました。映画「スターウォーズ」のメインテーマで始まった迫力のある演奏に終始圧倒されました。それぞれの楽器の紹介や指揮者体験コーナーなど親しみやすい時間

も設定されて
いました。ア
ンコールで
は、土浦第二
中学校校歌を
オーケストラ
の伴奏とも
に（マスク着
用ですが）全
校斉唱するこ
ともできまし
た。思い出深
い一日となり
ました。



オーケストラの指揮者体験（9年生）

8年生校外学習

今、各学校では、「キャリア教育」と言っていわゆる進路指導をより広い視野で行っています。義務教育9年間を通して、「働くこと」「よりよく生きること」について様々な活動を通して学習しています。例年なら、8年生が多くの事業所等に御協力いただき職場体験をするのですが、昨年度と本年度はキャリア教育の視点で校外学習を実施しました。今年は6月に、いばらきフラワーパークやその周辺の事業所に御協力いただき、体験や取材ができました。目的は「茨城の自然と地域の産業に直接

触れるとともに、産業や職業について学ぶことで、郷土への愛着や誇りをもつとともに自らの生き方を主体的に追求する態度を身につける」ということ。今回の体験をしっかりと未来に生かしてくれらることを思います。



タブレットも使って取材



いばらきフラワーパークで働く方への取材



駒村清明堂での取材

触れるとともに、産業や職業について学ぶことで、郷土への愛着や誇りをもつとともに自らの生き方を主体的に追求する態度を身につける」ということ。今回の体験をしっかりと未来に生かしてくれらることを思います。

◆二中地区公民館

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、公民館においても国が示す「新しい生活様式」を取り入れることになりました。

利用者同士の身体的な距離を確保する必要がありますことから、各部屋の収容人数を大幅に減らしました。また、部屋の貸出の際には、消毒液と「公民館利用確認票」をお渡しするようにしました。この確認票は、マスク着用や部屋の換気などコロナウイルス感染防止のために注



授業の様子
(理科)



授業の様子
(美術、ICTの活用)

意すべきことが記載されており、それら全ての項目を守っていただくことを確認するためのものです。消毒液については、ドアノブなど多くの人が接触する機会が多い箇所について、自らこまめな消毒をしていただくようお願いさせていただくようになりました。なお、皆さんがご利用になった後には、公民館においても部屋の消毒を行っておりますので、どうぞ安心してご利用ください。

次に公民館における各種事業についてですが、公民館では、社会教育施設として講座の開催、子どもの健全育成のためのチャレンジクラブ事業、二中地区市民委員会や文化祭など各種コミュニティ事業、社会福祉協議会真鍋支部の地域福祉事業など



チャレンジクラブ

(上) 絵手紙を作ってお年寄りにプレゼントしよう
(下) おもしろ理科先生と光の万華鏡を作ろう



土浦市イメージキャラクターつちまる
(アマビエ ver.)

多くの事業を例年行っております。しかしながら昨年度は、公民館講座の前期6講座全てが中止となり、後期も4講座のみの実施。チャレンジクラブ事業についても、例年4月に開講式を実施してりましたが、開講式が9月となり、2回のみの実施となりました。また、二中地区市民委員会、社会福祉協議会真鍋支部の各種事業についても、感染防止の徹底が困難であることから多くの事業が中止となってしまいました(下表)。

このように、公民館利用にあたり地域の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、利用する皆様の安全を守るためには大変重要なことであると考えております。また、コロナウイルス感染症は未だ予断を許さない状況でございますので、今年度の各種事業についても状況によっては実施できないこともございますが、地域の皆様には今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。

令和2年度市民委員会専門部事業報告

主な担当事項	実施月日	予定した事業内容
各部共通	中止 (11月予定)	二中地区文化祭参加・協力
	中止 (2月予定)	合同視察研修
福祉部 地域福祉への参加協力 ふれあいネットワークへの参加協力	中止 (8月予定)	窓愛園の夏祭りへの参加協力
	中止 (1月予定)	福祉映画鑑賞会
	2月	社協との合同研修会「消費者被害の事例と対処方について」 自宅学習と質問提出 (在宅)
安全部 交通安全思想の啓発 防災防犯活動の推進	毎月第2火曜日	防犯パトロール (真鍋地区)
スポーツ健康部 各種スポーツレクリエーション活動 健康づくり 健康教室	中止 (8月予定)	なでしこラジオ体操 参加協力
	中止 (10月予定)	市民体育祭 参加協力
	中止 (11月予定)	バスハイキング
	中止 (2月予定)	二中地区歩く会 参加協力
環境部 ゴミの減量化資源化運動 環境美化 水質浄化運動 花いっぱい運動	6月	花いっぱい運動、グリーンカーテン運動
	中止 (10月予定)	土浦市環境展協力
	中止 (12月予定)	ポイ捨て防止看板作成・設置
青少年育成部 非行防止キャンペーン 地域と学校との連携強化 親子教室 講演会 など	2回実施 (9回予定)	チャレンジクラブ事業への協力
	中止 (7、11月予定)	県主催「あいさつ・声かけ運動」参加
	中止 (8月予定)	地域パトロール (鹿島神社例大祭時)
文化広報部 広報紙発行 文化講演会の開催 公民館講座への参加推進	延期 (51、52号発行予定)	広報紙「やすらぎ」発行

まちづくりの
実践をたたえる表彰
令和3年

●飯山克巳さん

木田余東台

環境美化・奉仕活動（8年間）

町内各種行事に参加協力し、町内をよくまとめ、道路公園などの草刈り等を率先して永年行い、地域住民との連帯意識向上のため献身的に行動している。地域住民の模範であり大変喜ばれ感謝されている。

●新井三希子さん

木田余東台

奉仕活動（11年間）

木田余東台全域を中心に町内各種行事に率先して参加協力している。特に旧花みずき会を途中から改名した東台社会学級を率い、町内の女性団体としてコミュニティづくりに献身的に活動しており、たいへん喜ばれている。地域住民の模範であり大変感謝されている。



体験しよう！ みんなで楽しく健康体づくり

令和3年度
前期公民館講座

— 令和2年 —



●宮本貞子さん

木田余東台 奉仕・青少年育成

●小嶋理恵子さん

木田余東台 奉仕活動

●寺澤悦子さん

木田余東台 奉仕活動



山歩きのためのスマホアプリの使い方

公民館講座のご案内
公民館講座は、前期・後期に分かれ、さまざまな分野で開かれています。募集要項は、市の広報紙「つちうら」の4月・9月号に掲載されます。市内の各中学校区の公民館毎に募集案内が出ます。二中地区以外の講座にも応募出来ますので、興味のあるところに問い合わせみてください。



薬の正しい使い方

二地区

新地区区長紹介

真鍋一丁目
真鍋二丁目
真鍋四丁目
真鍋五丁目
東真鍋町

本橋 泰雄
菊田 光比古
上野 嘉久
羽生 佐洪
下田 衛

西真鍋町
真鍋新町
木田余東台
木田余西台
若松町

横田 悦男
和知 五月
南川 幸之進
名和 幸二
湯原 慶一



真鍋三丁目
砂田 幸男

趣味：ドライブ
スポーツ観戦

令和2年4月から真鍋三丁目地区長を仰せつかりました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に振り回され、真鍋鹿島神社例大祭や市民体育祭、歩く会など恒例行事のほとんどが中止になりました。未だかつてない事です。町内の人達と共有できた充実感や達成感が激減し寂しい限りです。そのような中、三丁目にできた新しい住宅に12世帯の転入がありました。若い世代が加わり、子ども達の声が聞こえる町内は良いものです。様々な年齢層の人達が、お互いの立場を思いやって物事を進めて行けることを楽しみにしています。

一日も早いコロナ禍の収束を願います。マスクの無い笑顔のもとで、元気で楽しいまちづくりを目指して行きたいと思っております。



真鍋六丁目
栗山 俊夫

趣味：ゴルフ
菊づくり

皆さんこんにちは。真鍋六丁目地区長の栗山俊夫でございます。

真鍋六丁目は、昭和50年に誕生し、早いもので46年目を迎えました。2本の国道に面し、大学、高校、そして数々の商業施設が建ち並び、文武両道の住みやすい町として発展してきました。

町会を中心に、育成会、昭和会、富士見会と各種団体が団結し、様々な活動を通して交流を深めている、とても活気がある町であります。

コロナ禍ではありますが、みんなのできることを考えながら、「住んで良かった、これからも住んで居たい」町づくりを目標に、輝かしい未来に向けて精一杯努力してまいります。よろしくお願いいたします。



殿里
岡田 孝雄

趣味：登山
スキー

当地区は、市街区域、市街化調整区域、農業振興区域と混在している地域であります。特に農業振興区域に指定されている区域は従前の農村環境がそのまま残っている状況であり、水路にはタン貝が生息するなど、自然環境がまだ残っています。しかし近年、農道を抜け道として利用する方が多く見受けられ、ゴミの投げ捨てが目立つようになってきました。

これを少しでも減らし、農村の環境美化を進めるためゴミゼロの日以外にも町民一斉による清掃活動を年数回行っております。

微力ながら町内会の皆様とともに、手を携えて、住みやすく安心して暮らせる町づくりに努めてまいりたいと思っております。



木田余
羽成 勇

趣味：ドライブ

地区長になり早一年になりましたが、コロナウイルスの影響で各種行事が中止となりました。今年も行事が中止となっております。

木田余3町内では、新神輿購入のため、前年より町内の皆様及び各事業所等より寄付を募ってまいりました。今年購入することが出来、祭礼は中止ですが、寄付を頂いた方々へお披露目を兼ねて祈願祭を各町にて執り行いました(7月24日)。





東都和
古川昭雄
趣味：菜園
ガーデニング

東都和は土浦市内北側に位置し、設立されて30年程度です。現状の課題は、世の中と同様、当町内会も高齢化が進んでいることで、負担軽減のためにこれまで実施していた行事の一部を中止しています。他方、ここ数年で新しい住宅やアパートも新たに建設され、若いメンバーが増えつつあります。町内会にとって重要な、防犯・防災・町内美化のための行事はしっかり実施しています。住民間の交流は、町内行事に加え、同好会などの活動でも盛んに行っています。負担を減らしながら、如何に住民同士のつながりや安心、安全な町内会を維持していくかが重要で、会員、役員や班長さんとともに考えていきたいと思っています。



二中地区公民館 新職員紹介



公民館館長
古谷健一

本年4月の人事異動により、二中地区公民館の館長に就任いたしました。何卒よろしく願います。

さて、公民館は、講座の開催や同好会・各種団体による社会教育活動、市民委員会や福祉活動の拠点、更には地域の交流の場として親しまれ、多くの方々にご利用いただいております。しかしながら、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、公民館の部屋の貸出や各種事業が中止となり、地域の方々が交流する機会が減少することとなりました。今後、新型コロナウイルス感染症の早期終息を願うとともに、二中地区公民館が、地域の皆様のふれあいの場として、また、地域づくりの場となりますよう、職員一同より一層努力してまいりますので、よろしく願います。



主事
橋内百合

昨年4月の人事異動により高齢福祉課からまいりました。公民館でお世話になるのは2回目です。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館や行事等の中止で地域の皆様にお会いできず寂しい一年でした。

地域の皆様の活動を陰ながらお手伝いできるように努めてまいります。公民館にお越しの際はお気軽にお声をかけてください。

新着図書紹介

- クスのノキの番人 東野 圭吾
- 82年生まれ、キム・ジョン チョ・ナムジュ
- 店長がバカすぎて 早見 和真
- 囲炉裏と薪火暮らしの本 大内 正伸
- 志麻さんの何度でも食べたい極上レシピ 志麻 志麻
- 風よあらしよ 村山 由佳
- 歎異抄をひらく 高森 顕徹
- 50代からしたくなるコト、なくていいモノ 岸本 葉子

- ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー ブレイディみかこ
- ころべばいいのに ヨシタケシンスケ
- 少年と犬 馳 星周
- 押し燃ゆ 宇佐美 りん
- 武術家、身・心・霊を行ず 老松 克博
- 続氷点 上 三浦 綾子
- 続氷点 下 三浦 綾子
- 元彼の遺言状 新川 帆立
- ブラック・ジョーマンと名もなき町の殺人 東野 圭吾
- 心淋し川 西條 奈加
- 家族じまい 桜木 紫乃
- 海の見える駅 村松 拓
- 刺し子のふきんと小物 sashiko nani
- キャンプ×防災のプロが教える新時代の防災術 寒川 一
- 藤田智の新・野菜づくり大全 藤田 智
- オルタネート 加藤シゲアキ
- 52ヘルツのクジラたち 町田そのこ
- お探し物は図書室まで 青山美智子
- 犬がいた季節 伊吹 有喜
- 冷凍コンテナごはん タスカジ・ろこ
- 究極のきくち体操 菊池 和子
- ザリガニの鳴くところ デイリア・オーエンズ
- 神様の貨物 ジャン・クロード・グランベール
- 自転しながら公転する 山本 文緒
- 桜のような僕の恋人 宇山 佳佑

町内ウォッチング

木田余町・木田余東台・木田余西台

御神輿の新調

木田余氏子総代会長 吉田 隆行

木田余八坂神社祭礼は、毎年7月に木田余地区町内会で行われており、伝統と歴史のある祭礼です。一時中断となりましたが昭和55年に再開されました。現在に至っております。

近年は神輿が老朽化し、修繕も困難な状況になっていました。このため、飯山前木田余地区長が6年前にコミュニティ助成補助事業での購入を考え、土浦市へ要望書を提出していたところ、令和2年度補助金が該当することとなりました。各関係団体と協議を行い、今回購入する運びとなりました。

購入業者については、数社と交渉の結果、群馬県の上州みこし製造業協同組合から購入することになりました。

ただ、補助金だけでは資金が足りないため、木田余、木田余東台、木田余西台の各町内会、事業所、関係

各団体に、浄財寄進をお願いいたしました。皆様方のご理解、ご支援、ご協力をいただいた結果、神輿を新調することができました。皆様方に厚くお礼を申し上げる次第です。

一方で、旧神輿については、先日、廃棄処分のため関係者の出席をお願いし、神事（お祓い）をいたしました。今までに多くの人が担ぎ、そして携わり、五穀豊穡、無病息災を願い、今日に至りましたが、一つの時代が終わったという思いでした。

八坂神社の祭礼は木田余各町内会の新旧住民が一丸となって挙行され、地域の活性化、住民の交流の場となっております。町民の親睦と融和を図ることができ、住みよいまちづくり、安全、安心の町づくりには欠かせないものと思います。

残念ながら、今年の祭礼は昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大



新御神輿

防止のため行いませんでしたが、新神輿による祈願祭を7月24日に行つたことをご報告いたします。

―新神輿について―

大きさは中型で台は一尺八寸、大鳥は大型神輿のものを取り付けてあります。高さは1.5メートル、重さは百数十キログラムです。

神輿（台の部分、胴の部分、屋根の部分）の割合が五対三対七であり七五三と縁起のよい造りとなっております。



神輿小屋（左の建物）



八坂神社・鹿島神社境内

編集部コラム

発行すべきか否か

昨年9月、本紙の21年2月号を発行するかどうかで、文化広報部の会合があった。新型コロナウイルス禍の中、編集会議で多人数が集まるのはリスクもある。みなさんの意見を聞きたい、というものであった。

議論の末、編集活動には部員の感染リスクがあるので発行しない方がよいという意見と、このコロナ禍での事実を後世に残すために発行すべき（ただし、有志のみで編集）との意見が出た。私は後者の意見であった。多数決を取り、結果は10対3で「発行しない」こととなった。私は少し意外に感じた。有志で編集するならば、反対の方に迷惑はかけない。なぜだろう？自分一人でもやった方がよいのでは？数日間、自分の中でこの結果を咀嚼してみた。仮に有志で発行した場合、広報紙は発行されたが編集に携わらないという方が出ることになる。有志以外の方はどういう気持ちだろうか？あるいは、その有志の中で感染者が出たら？10名の方の思いが少し分かった気がした。我々はボランティアの集まりだ。多数が納得のいく形を取ることも、その精神に合致することである、と教えられた。

